



「第5回 宮園小チャレンジ・コンテスト」の結果について

廿日市市立宮園小学校
校長 中谷 一志

9～11月に募集した「第5回 宮園小チャレンジ・コンテスト」(通称:チャレ・コン)に、様々なことに自分から進んでチャレンジした延べ22名の児童から21作品(共同制作含む)の応募がありました。審査結果は次のとおりです。

1 最優秀チャレンジ賞

1～3年生の部

◎1年1組 植岡 優衣 さん「ゆなのてんきよほう」

《校長コメント》

遊びでやった天気予報を家族の方が楽しんでくれたことがきっかけで、夏休みの間、天気予報にチャレンジすることにしました。空の様子を観察して写真をとったり新聞の記事を見たりして、毎日の天気予報を分かりやすくまとめています。「ゆな」というキャラクターを登場させるという工夫もよかったです。工夫しながらコツコツ続けた素晴らしいチャレンジでした。

4～6年生の部

◎4年1組 棚田 珠来里 さん「種から糸ができるまで!!」

《校長コメント》

おばあさんからいただいた綿の種。その種まきからスタートし、毎日水やりなどをして大切に育て、収穫した実から糸を作り、そして、その糸で布を縫う…そのすべてを自分の力でやりとげています。種を植えてから布を縫うまで、5カ月以上の時間をかけて行われたチャレンジです。まとめ方も工夫されており、最高に見事なチャレンジとしか言いようがありません。

※棚田さんは、第1回から第5回まで全て最優秀チャレンジ賞に選ばれました。

2 優秀チャレンジ賞

1～3年生の部

◎1年1組 真田 悠市 君「いきものずかん」

◎1年2組 植岡 希歩 さん「はなの名まえ」

◎2年1組 吉田 柊斗 君「ガチャガチャ」

4～6年生の部

◎4年1組 角本 明日華 さん「大竹手すき和紙」

◎6年1組 川本 悠生 君「歴史人物データノート」

3 特別賞

◎1年2組 河本 もな さん「ヘッドネーション」



4 総評

今回は22人からの応募で、第4回の27人より人数は減りましたが、力作・大作が多く、作品の質が高くなっていると感じました。また、しっかり時間をかけて、長期間コツコツと観察したり調べたりした作品が多くなっているようです。とても素晴らしいことです。

身の回りのいろいろなことに興味を持つだけでなく、興味を持ったことについて、調べてみよう、やってみよう、と、一歩踏み出そうとする児童がこれからもどんどん増えてほしいと思っています。

22人の児童の皆さん、ナイス・チャレンジでした。